



# 算数

## 【良好であること】

- ・ 計算の順序についてのきまりを理解して計算すること
- ・ 答えの求め方を順序立てて説明すること
- ・ わり算の計算のきまりを使って計算すること
- ・ 合同な図形の性質 等



## 【課題となること】

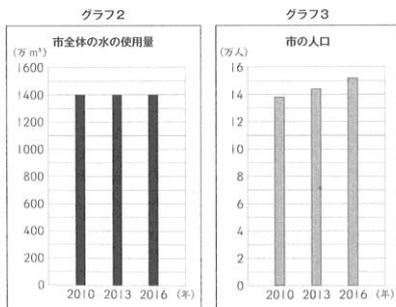
- ・ 2つのグラフから読み取れることを考え、そのわけを書くこと
- ・ 示された計算の仕方を読み取り、数学的な表現を使って説明すること

## <対応策>



- ・ 情報を表やグラフに整理し、考察する機会を増やします。
- ・ 式をもとに自分の考えを説明する機会を増やします。

(3) 次に、かいどさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思い、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



- かいど: 私たちは、水を大切に使用しているといえるのでしょうか。
- ゆうか: 市全体の水の使用量はわかりませんが、1人で水をどのくらい使っているのかわかりません。
- あやの: グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

### 出題の趣旨

日常生活の問題の解決のために、資料の特徴や傾向を基に考察したり、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断したりすることができるかどうかをみる。

### 【設問の趣旨】

2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめる、どのようになりますか。

下の□の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使くと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

### 【設問の趣旨】

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

## § 2 学習状況調査に関する結果

**赤崎小学校スクールプランの重点目標**に関する質問項目については、とても意欲的で良好な回答がほとんどでした。

### ◇家庭学習の習慣が身についている

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」

### ◇より良い人間関係を築いている

「人が困っているときは、進んで助けていますか」

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

### ◇目標（夢）に向かって努力している

「将来の夢や目標を持っていますか」

### ◇ふるさとに関心がある

「今住んでいる地域の行事に進んで参加していますか」

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」

## § 3 過去3年間の調査結果から

**良好**  
であること

- ・基礎的・基本的な問題は、ほぼ定着している。
- ・無解答がなく、何とか考えて答えを導こうとする前向きな姿勢が見られる。
- ・将来の夢や目標を持ち、人の役に立つ人間になりたいと思っている。

**課題**  
となること

- ・必要な情報を的確に読み取ること。
- ・目的や意図に応じ、伝えたいことを明確にして書くこと。
- ・情報を関連づけて、順序立てて説明すること。

### 【角鹿中校区小中学校における共通した取組】

#### ① 基礎的・基本的内容の定着

- 各教科における『児童生徒の弱み』を分析し、克服を目指した授業づくりを行います。
- 授業の終末の『振り返り』を継続し、内容の整理と理解の確認に取り組みます。

#### ②家庭学習時間の確保

- 家庭学習の成果を試す場を設定し、家庭と学校との『学習のつながり』を強化します。

#### ③SNSに関する正しい知識の理解と使用上のマナー向上

- SNSの活用に関する『小中共通のルール』を基に、継続した指導に取り組みます。

#### ④活字とふれ合う機会の設定

- 『読書意欲』を高めるために図書室の環境整備や優良図書の紹介に努めます。
- 新聞記事を活用した『自分の考えを持つ学習』により読解力の向上を図ります。



今後も、ご家庭との連携を十分に図りながら、**赤崎っ子の学力及び生活習慣の向上**をめざしてまいりますので、ご協力の程よろしく申し上げます。